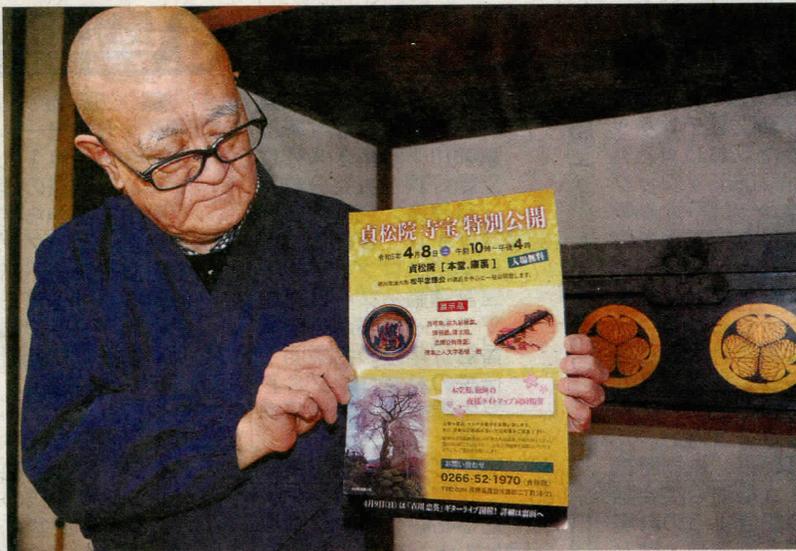


# 徳川家ゆかりの品30点

## 4月8日 宝物を特別公開



徳川家ゆかりの品を収蔵する貞松院の  
山田住職と特別公開のチラシ

諏訪市諏訪2の貞松院（山田雄道住職）は4月8日、所蔵する宝物を特別公開する。徳川家康の六男松平忠輝ゆかりの品を中心に、茶道具や古九谷の大皿など約30点を本堂と庫裏に展示する。尺八の一種で織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に伝わった「一節切銘」（ひとよぎりごうごう）を模して作られた「秋声」の演奏が午前11時から本堂で行われる。奏者は都山流大師範の面角粹山さん。（唐沢宏）

忠輝の墓所でもある貞松院一戸時代の所有者が特定できるは、数多くの遺品を守り伝える。特別公開では、家康が忠輝に与えた乃可勢をはじめ、忠輝が大坂夏の陣で使ったとされる陣羽織や陣太鼓、加賀前田家から忠輝に贈られた古九谷の大皿、天海僧正が忠輝にあてた書状（いずれも市指定文化財）、忠輝公肖像画などを展示する。

このうち古九谷の大皿は「加賀の白山」が描かれ、「江

古九谷は他にはない」と言われる絶品。15年秋に石川県加賀市で開かれた展覧会にも特別出品された。江戸時代に民衆や大名から熱狂的な支持を集めた徳本上人の書「大字名号」の掛け軸や、初代高島藩主諏訪頼水に嫁いだ貞松院の遺品なども展示する。

特別公開は2017年以來。NHK大河ドラマ「どうする家康」で家康に注目が集

まる中、徳川家ゆかりの品々を拝観したいという声にこたえた。山田住職は「文化財が地元にあることを知っていただく機会になればうれしい。樹齢400年のシダレザクラとあわせて見ていただければ」と話している。

午後4時。駐車場は国道20号沿いにある教念寺駐車場が利用できる。翌9日には吉川忠英さんの夜桜ギターライブ（諏訪ポピュラー音楽協会主催）もある。

特別公開の問い合わせは、貞松院（電話0266・52・1970）へ。